

そして体験する!

4本のラインで操る クアッドラインカイト

空中に停止できることが大きな特徴です
その動きは上下左右全方向に広がり
チームフライトにはかなり繊細な動きが要求されます
この機会にぜひ挑戦を!

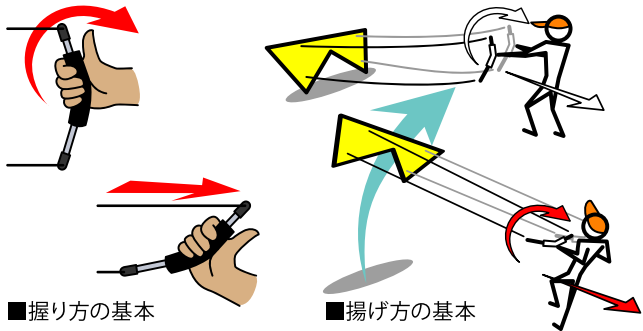


私たちと一緒にカイトを揚げてみませんか?
いつでも大歓迎です



4本ラインのカイトを揚げてみよう! (基本編)

クアッドラインカイトからは4本のラインが伸びています。操縦桿はハンドルと呼ばれ、片腕の上下から1本ずつラインがカイトへと伸びています。そのハンドルを両手に1本ずつ握り、カイトを操ります。重要なのは腕の振りと手首の感覚! 手に握るハンドルの傾きとの連動でカイトを傾かせ、風を受け空へと舞い上がる仕組みです。カイトを揚げることから始め、ストップ&ゴーや、その場で停止状態からスピンをかけるなど、様々な動きを操作することができます。



■握り方の基本

■揚げ方の基本

Kite Field Map

石狩市親船町
「ヤウスバ運動公園」
河川敷



北海道のフライヤーが週末によく集まるフィールドです。
眩しいのでいつもサングラスをかけていて
ちょっと見た目が怖いかもしれませんが、
実はみんな優しいので、どうぞお気軽に声をかけてくださいネ。
ホントですから。

ご興味を持った方は
ホームページをご覧ください



全日本スポーツカイト協会
<http://www.ajska.gr.jp/>

+AXEL
<http://www.sam.hi-ho.ne.jp/plus-axel/>

ISHIKARI Field RE-port
<http://from-sapporo.sakura.ne.jp/index.html>

カイトが欲しいと思った方、お気軽にご連絡ください

全日本スポーツカイト協会北海道支部
hokkaidou@ajska.gr.jp



※カイトは風を利用して楽しむスポーツです。初心者のときはスピードコントロールがきかず、周りに人がいたり、物があると思わぬ事故につながる場合があります。広くて電線がなく、下に人がいない事を十分確認した上でフライトする必要がありますので、最初は経験者に指導を受けてから始めましょう。

AJSKA ALL JAPAN SPORT KITE ASSOCIATION
Enjoy a wind! <http://www.ajska.gr.jp/>



ヘリコプターの操縦桿を握る感覚!

Quad Line

クアッドラインカイト

私たちはスポーツカイト愛好家の団体です。
音楽とカイトのシンクロ技術の向上を目指しています。
本日はご来場ありがとうございました。
どうぞゆっくりと、
気長~に、美しく飛び舞うカイトの世界をご堪能ください。
なんせ風任せのスポーツですから。

全日本スポーツカイト協会北海道支部
hokkaidou@ajska.gr.jp
ご興味を持った方、お気軽にご連絡ください

風を読む、感じる... そうして空を彩る!

スポーツカイトは大空を舞台に描くパフォーマンスです。



Let's take off!

青空を飛ぶ凧は一本の糸で貴方と繋がっています。

風の強さで糸を引いたり引かれたり、

なんとか操ってやろうと走ったりしても、凧は自由になりません。

「自由に凧を操りたい、そうすればどんなに楽しいことだろうか？」

それを叶えてスポーツ競技として生まれたのがスポーツカイトです。

さっそく揚げようクアドラインカイト

コツは手首! 手首を駆使して自由自在に操ることができるのが大きな魅力であり、同時に難しさでもあります。

クアドラインカイトの楽しみ方は、様々な風の状況に合わせて操り方を変えて対応し、それを技として実行することです。

カイトはフライヤーの動きに敏感に反応するため、様々な風のどんな状況でも同じ技を決めるためにフォームを改善し対応する練習をします。

自然の状況(強風・微風)や、本人の嗜好等に応えるために特化した機種も有り、好みの機種で技に磨きをかけましょう。

多人数で揚げるチームフライトへの誘い

単機より複数機、一緒にフライトする仲間が増える程、スポーツカイトの魅力が広がります。

上手くいった時には互いに喜び合い、そうでない時には励まし合い、そこから生まれる人間関係。だからこそフィールドに居る仲間たちは仲が良いのです。(サングラス姿が一見怖そうに見えますが...)

世界中で行われているスポーツカイト競技には、アーティストックスイミングの様に、音楽に合わせてカイトをシンクロさせる「チームバレエ」が存在し、日本代表の実力はいつも上位に食い込みます。特に北海道はカイトが盛ん。是非仲間に入りませんか。

ちょっとした豆知識

スポーツカイトの凧は、もともとはアメリカで軍隊の射撃訓練用の標的として開発されました

そんな道具が今ではスポーツとして発展されているのが面白いところですね。

近くで見ると意外とデカイ!

近くで見るとその大きさはかなりのインパクトがあります。でも持ってみるとすっごく軽い! パラシュートと同じ素材で作られているカイトは丈夫で軽くてたまたまコンパクト。